

## 苗木植えが完了しました

2015年04月20日

「和の会会報」第2号

3月25日～28日は支柱立てとワイヤ張りをを行い、4月10日、11日は苗植えをしました。16日は支持棒にテーピングして作業は全て完了です。植えた苗木は173本です。しっかりと成育すれば4、5年後には4、5百kgのブドウが収穫できるものと思います。

### ★3月25日午後 畑の石除き

・お願いしていたユンボがきました。ユンボを器用に操りトラックから下ろす業者の折原さんです。写真①

・このユンボで畑の2ヶ所にある大きな石を掘り除こうとしました。が、石と言うより岩のように地中に広がっていて、1時間ほど挑戦しましたが取り除くことができません。この日の作業は中止です。



写真①

### ★3月26日 計測と支柱立て



写真②

・ヴィラデスト（ぶどう栽培の指導をいただいているワイナリー）の方に支柱を立てる位置の計測を2時間ほど指導していただきました。ウネの支柱間は6m間隔（1幅として基本4本の苗を植えます）、ウネ間は2.5mの位置にマークし支柱を立てます。写真②

・昨年の計測では9ウネ44幅出来る予定でしたが、実際は除ききれない石などもあり9ウネ39幅となりました。

・支柱は、各ウネの両端には端柱という円柱の支柱を、端柱の間には中柱というL（エル）型の支柱

を地中に60cmほど埋込みます。埋込み方は、ユンボのシャベルで支柱の頭を押す力仕事です。横にずれないように支えるのが大変です。立てる支柱は全部で48本です。写真③

・が、地中の石に当たるとそこから先に押込むことができません。端柱は円柱で先が尖っていて丈夫なので、シャベルで支柱の頭を叩いてみます。60cm埋込むことができないと、ユンボ



写真③



写真④

で土を掘り起こして支柱を埋めます。（支柱の7割方土を掘り起こして埋めました）写真④

・この日は、ほぼ半分の支柱立てができました。

### ★3月27日 残り半分の支柱立て、アンカー打ち

・支柱立ては前日と同様の作業です。午前中に全て終了しました。

・午後からは、それぞれの端柱の外側に計18本のアンカー打ちです。アンカーはその先に20cmほどの円盤状のストッパーが付いているため押込むことができません。

コンボで 60cm ほどの穴を掘って埋めていきます。これでコンボを使った力仕事は終了です。

### ★3月28日 ワイヤー張り

・9本のウネの支柱に規定の高さで4本のワイヤーを張ります。最下段は径が2.6mmのワイヤー、他の3本は、径が2mmのワイヤーを往復で張ります。ピンとは張りません。写真⑤

### ★4月10日午後 苗植え位置の指示

・注文した173本の苗を全部植えるには、2段に分かれた上段畑の20幅に1.5m間隔で4本ずつ、下段畑の19幅に1.2m間隔で5本ずつの苗を植えることとしました。メジャーで測って長さ70cmほどの支持棒を指しておきます。



写真⑤



写真⑥

### ★4月11日 苗植え

・前日夜の雨はなることかと思っておりましたが、当日の朝には雨も上がり苗植えを実施できる状況になりました。会社の新入社員9名を含む若手19名、更には児玉さん、ワインオリエンテッドの小山社長、副島さんに手伝っていただき、総勢23名で作業しました。

・8時半頃から力のある8名（後半は6名）で支持棒の位置に30cm四方の穴を掘りますが、思った以上に石がでてきたりして時間が掛かる大変な力作業でした。写真⑥

・苗植えもまた、ヴィラデストの方に来てもらい1時間ほど指導していただきました。ただ、先に開始して掘っていた穴の形が指導と違うものがあり、それらを補正しなければならなかったのが誤算でした。女性陣5名は苗植えです。掘った穴の中に水を入れ、土を盛って、苗を置き、土を被せます。泥に触る仕事ですが、これはスムーズに進みました。また、他のメンバーは水運び、土を被せた後の仕上げ、昼食のバーベキューの準備などの作業をしました。

・当初は人数も多いので11時半頃には終わるかなと思っ

ていましたが、少し遅れ12時過ぎに苗植えは一応無事に終了です。皆さん、なれない仕事に頑張ってくださいました。11時には青空も出てきて無事バーベキューで打上することができました。写真⑦

### ★4月16日 テーピング

・テープナーを使って苗木の30cmくらいのところで支持棒にテーピングしました。写真⑧

・このあとも防除、剪定、除草などぶどうの面倒見ていかなければなりません、無事成長し十分に実をつけてくれることを祈るばかりです。



写真⑧